

攻めの経営革新計画で 売り上げの大幅アップを実現

課題

創業3年目で販路拡大。 ロス率増大などの課題も

株式会社明和化成工業は、平成27年に個人事業所として創業、平成29年12月に法人化。おもに防水に関連した自動車用部品、穴埋め用の電気工事部品、窓枠関連などの建物付属部品などのゴム製品加工、設置業務を手がけている。

創業まもない頃は、経営者がかつて勤務していた有限会社内藤ゴム工業との取り引きが多くを占めていたが、現在は自動車の防水関連事業の受注が拡大し、取引先も多様化している。

一般にゴム加工事業者は、成型、加工どちらかを主業務としているが、同社はその両方に高い技術力を有していることが強みになっている。そのために、たとえば、プレス加工後のハンドワークに加え、試作品づくりにも対応できる。

さらにこれまでの業務経験から、ゴム製品に関する多岐にわたる商品開発の構想、そのベースとなる技術やアイデアを擁していることも同社の強みである。

創業3年を経過した時点の課題は、①取引先が海外へ生産シフトした場合の対応、②高精度の商品提供、③量産の実現とロス発生率の抑制が挙げられた。

支援

手動プレス機から 自動プレス機に切り替え

支援にあたった知立市商工会では、同社に対し、創業2年近くが経過した時点で新たな経営計画の作成を提案し、徹底した現状分析を実施した。

その結果、前述した利益率の低さとロス率の高さという問題点が浮かび上がってきた。そこで、商工会は、新商品開発を軸とした「攻め」の経営革新計画を提案する。

その後、ロス率の高さなどの問題の要因として手動プレス機の使用があることが判明し、経営計画を「自動プレス機導入に伴う保安部品製造及び新商品開発」とし、愛知県に提出。承認を受けた。

こうした商工会の支援活動は、同社の既存製品の受注が増加したため、停滞しがちであったものの、経営計画の「見える化」などの重要性を説明し、経営者の賛同を得て現在に至っている。

経営革新計画承認後の売り上げは、それ以前に比較すると、



同社工業内での作業風景

126%もの大幅増を記録している。

その最大の要因はやはり、自動プレス機の導入である。その結果、ロス率を大幅に軽減でき、利益率が向上。また、自動プレス機の導入で、同社のもつ高い技術力を活用することで新商品開発や販路開拓にも期待ができるようになった。

同社では、今後はさらに製品の精度を高めることで、顧客からの信頼度を高め、新商品開発も含めて、新分野に事業を拡大していきたいとしている。

支援の経過

期間	支援内容
H29年8月	ヒアリング開始、経営計画の策定支援
10月	経営計画の策定支援
11月	経営革新計画の提案
H30年1月	経営革新計画の策定支援
7月	経営計画支援・フォローアップ

会社概要

会社名：株式会社明和化成工業
 所在地：愛知県豊田市高岡本町双葉1
 電話番号：0565-98-2122
 代表者名：代表取締役 黒田高明
 創業年：平成27年
 年間売上高：1902万円（平成30年※6ヵ月分）
 従業員数：8名（パート含む）
 商工会名・担当者名：知立市商工会・井上睦子